

おはようございます。

2017年が暮れようとしています。3年生は、年が明けてすぐのセンター試験に向けて準備を進めているところだと思います。1・2年生の皆さんにも向けて、今日は2つのことを話したいと思います。

一つ目は、人間の成長曲線の話です。多くの場合、成長曲線は身体的発達を考える際に使われますが、今日の話は学力の成長についてです。

人類はその歴史上、成長することで進化してきました。しかし、その成長は決して右肩上がりに直線で進むものではありませんでした。研究者によると、多くの場合人の成長は指数関数的に現れるそうです。つまり、 $Y=2^x$ のような指数関数のグラフのようになるということです。最初は傾きが緩やかでいつまでも伸びが感じられませんが、努力を重ね続けるうちにある時から急激に成長が始まるというものです。それが指数関数の曲線と似ているので、指数関数的成長と呼びます。

皆さんの成長もまたそうだと思います。途中段階では、自分では伸びているのかどうかわかりません。そして不安になり焦りますが、実は成長は少しずつ進んでいます。努力を続けていけば間違いなく成長しているのです。それが実感できるのはその努力がある程度継続した後です。必要な知識や要領の量が十分に蓄積して始めて、それを活用できるようになるからです。

従って、自分を信じて努力を続けるという言葉には理論的な真実があります。生徒の皆さん、繰り返しますが、学力の成長は指数関数的に起きるということを忘れないでください。そして、努力を継続してください。

二つ目の話は、成果を上げる人間の共通点についてです。我々は皆人生の過程において様々な課題を乗り越えて生きていきます。うまく乗り越えられる場合もあれば、失敗する場合もあるでしょう。ところが、成功する場合の多い人が世の中にはいます。その人たちに共通する要因の一つが成功への強い情熱です。情熱とはどうしても成功したいという強い気持ちです。そしてこの気持ちを表に出すこと人が多いのです。有言実行という言葉が不言実行をもじって使われるようになっていきます。夢は口にすることで叶えられるという意味ですね。どうしても実現したい情熱があるからこそ言葉にします。それを聞いた周囲の人たちはその夢を応援します。それは、精神的な応援でもあり、物理的な応援でもあります。本人の努力と周囲の応援が合わさることで、成功への確率が格段に上がっていくのです。

3年生の皆さん、皆さんの第一志望への合格をかなえるには、何としてもそこに行くのだという強い情熱が必要です。そしてできればそれを周囲の人に表現してください。それによって自覚的に努力を続けることが可能になり、成功への確率を上げることができると思います。

皆さんの努力が成功への道に繋がっていくことを祈って、今年最後の話とします。